

千葉あいご

Vol. 87

Index

- 1 令和6年度千葉県知的障害者福祉協会定期総会
- 2 災害対策委員会（“はじまり”と“これから”）
- 3 県知的障害者福祉協会 支援スタッフ部会
- 4 わが施設の自慢・アピールポイント④
- 5 新事業所紹介
- 6 千葉知協トピックス
- 7 事務局だより・編集後記

第87号（2024年7月号）

発行日：2024年7月20日／発行者：里見吉英／編集者：畠山正昭・菅谷大輔・成川 真

発行所：千葉県知的障害者福祉協会

[本部] 千葉市中央区中央3-15-6 山長（ヤマチョウ）ビル4F TEL 043-224-5721 HP <https://caid-net.com/>

[事務局] 船橋市金堀町499-1 大久保学園内 TEL 047-457-2462



里見会長挨拶

●会長挨拶

里見吉英

定期総会に際して多数のご出席をいただき誠にありがとうございます。令和6年4月からの報酬改定につきましては、心配されるような結果にならず良かつたと感じております。ただ、その後の動きを見てまいりますと他業種では人件費等が上がっており、この業界もゆとりある経営とはいえないだろうと思います。

令和6年度 千葉県知的障害者福祉協会定期総会

●日時 令和6年4月25日(木) 午後2時～

●会場 ホテルグリーンタワー幕張

当協会ではここ数年、力を入れてきたことは「人材確保」であります。とにかく人が来ない、何とかしてほしい、という声が多く当協会もお役に立てるようになると人材確保委員会を立ち上げまして、さまざまな活動を行っておりますが、おかげさまで前回の就職説明会「福祉ライブカフェ」では50名近くの方の参加をいただき、一定の成果をあげております。今は福祉業界だけではなく、どの業界も人手不足で苦労している状況であります。

障害者支援施設部会を中心に取り組んできた強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）については今回の報酬改定により加算取得の要件が変わりましたが、多くの受講修了者を出しており、ほとんどの事業所が要件を満たしていると思います。このような研修を行っているのは全国的にも千葉県だけであります。通所事業所にもメリットがあるため、今後も研修を継続して取り組んでまいります。

当協会では加盟事業所どおりで情報交換していただき事業の運営に役立てていただきたいと考えております。また、県と協議する機会を持ち、予算要望についても継続して取り組んでまいります。当協会が元気でなければ、施設を利用するする方々も元気にならないと思いますし、施設長さんたちが楽しくなければ、職員も楽しくないと思います。これからも様々な企画、機会を設けていきますのでご協力をよろしくお願いいたします。

●定期総会

役員改選については事務局より役員の選出について提案がなされ、次期会長については、この2年間、会長として先頭に立つて協会活動に取り組まれてきた現会長の里見吉英氏に引き続きお願いしたいことが提案されました。副会長におきましては里見会長より現副会長の小林勉氏、佐久間智氏、千日清氏に引き継ぎお願いするところが案として提出され承認されました。（協会役員等の名簿は下記に掲載しましたのでご参考ください。）



石塚英一顧問弁護士

岸恵子氏、総会議長は大利根旭出福祉の山之内俊雄氏の進行により順調に議事審議がなされ、和5年度事業報告と決算報告、令和6年度事業計画・収支予算については原案通り承認されました。生活サポート千葉の山之内俊雄氏の進園長は行により順調に議事審議がなされ、和5年度事業報告と決算報告、令和6年度事業計画・収支予算については原案通り承認されました。



山之内俊雄議長

令和6・7年度千葉県知的障害者福祉協会役員等名簿

【役員】

会長	里見 吉英	(ふる里学舎)
副会長	小林 勉	(菜の花会)
副会長	佐久間 智	(しおさいホーム)
副会長・事務局長	千日 清	(大久保学園)
監事	白鳥 征四郎	(心聖会)
監事	佐久間 水月	(弁護士)

【部会長】

生産活動就労支援部会	片山 純	(ワークわく・きよさと)
児童発達支援部会	新福 麻由美	(桐友学園)
障害者支援施設部会	佐久間 智	(しおさいホーム)
日中活動支援部会	小田切 紅子	(あゆーる)
相談支援部会	大越 将司	(山武みどり学園)
地域支援部会	内野 浩二	(ピア宮敷)
支援スタッフ部会	佐久間 雅也	(いすみ学園)

【委員長】

スポーツ文化委員会	藤崎 明	(第二ひかり学園)
研修委員会	小林 勉	(菜の花会)
広報委員会	畠山 正昭	(中里の家)
調査研究委員会	村山 義幸	(佐倉福葉苑)
権利擁護委員会	吉田 和馬	(かんてら)
福利厚生委員会	中村 敏久	(上総喜望の郷)
政策委員会	土屋 貢	(エルピザの里)
人材確保委員会	中村 輝彦	(ビーアンビシャス)
災害対策委員会	高橋 重幸	(やまぶき園)



総会会場(出席者195名)

配慮の提供の義務化と過大な要求について、法人運営ではカスタマーハラスメントに関する規程についてや工事代金の増額請求について、職員待遇では契約職員1年目の休職についてや退職勧奨についての相談があつたことが報告されました。

各部会、委員会が活発に活動して機能していくことが当協会の活動を盛り上げていくこととなると思います。協会加盟事業所の皆様には積極的に協会の活動への参加をよろしくお願ひいたします。

以上、報告いたします。

千葉県知的障害者福祉協会 広報委員会

災害対策委員会（「はじまり」と「これから」）

「はじまり」

2011年3月11日東日本大震災が発生しました。津波により多くの方が亡くなり、多くの方が被災しました。報道は多くありませんでしたが、私たち千葉県の外房でも津波による被災がありました。そんな中、東京電力福島第一原子力発電所の事故により福島県から障害者支援施設の利用者と職員が千葉県鴨川市にある「鴨川青年の家」に避難してきました。支援協力の要請があり協会からの働きかけで、県内の多くの施設の職員が支援協力を行いました。それから8年後、2019年9月に千葉県を直撃する台風に見舞われます。被害状況は深刻で千葉県内に上陸した台風15号は暴風と大雨をもたらし、水害・風害と停電が残りました。停電は2週間ほど続き、それに伴い熱中症が増加したり、ガソリンが手に入らないなどの弊害も起きておりました。この際も協会の多くの事業所の協力が得られました。そして2019年暮れに発生した新型コロナウイルスは、年明けから日本でも徐々に流行り始めました。

このような中、災害時に対応できる組織を作ろうと、2021年千葉県知的障害者福祉協会に災害対策委員会が発足されました。前年2020年には県による千葉県DWAT（災害福祉支援チーム）が発足され、当協会とも締結しております。

新型コロナウイルスは、2020年の頭には日本でも感染が始まりましたが、発生当初の新型コロナウイルスは重症化する大変怖いもので、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されるなど、私たちが対応できるものではありませんでした。2022年ごろには感染拡大のスピードを上げ、私たちの福祉施設にも広がっていきました。感染を目の当たりにすると、足りないものが見えてきます。物・人・医療・環境。特に人に関しては、職員が感染すると長い隔離期間があるため、支援者が足りなくなるという事態が深刻でした。このような状況を鑑み、災害対策委員会では新型コロナウイルスも災害とみなし、対応していくことになりました。まずは、クラスターになつた事業所より状況のお知らせをいただき、物資で足りないものを、そして人員についての情報をいただきました。実際に物資を運んだり、職員を派遣することもありましたが、どこの事業所においても苦しい日々を過ごしていくことを強く感じ、とても考えさせられました。各事業所の皆様におかれましては、お忙しい中にもかかわらず、詳しく述べて丁寧なご報告を送つていただいたこと、また支援協力に積極的に手を上げてくださったことに大変感謝しております。

「活動開始」

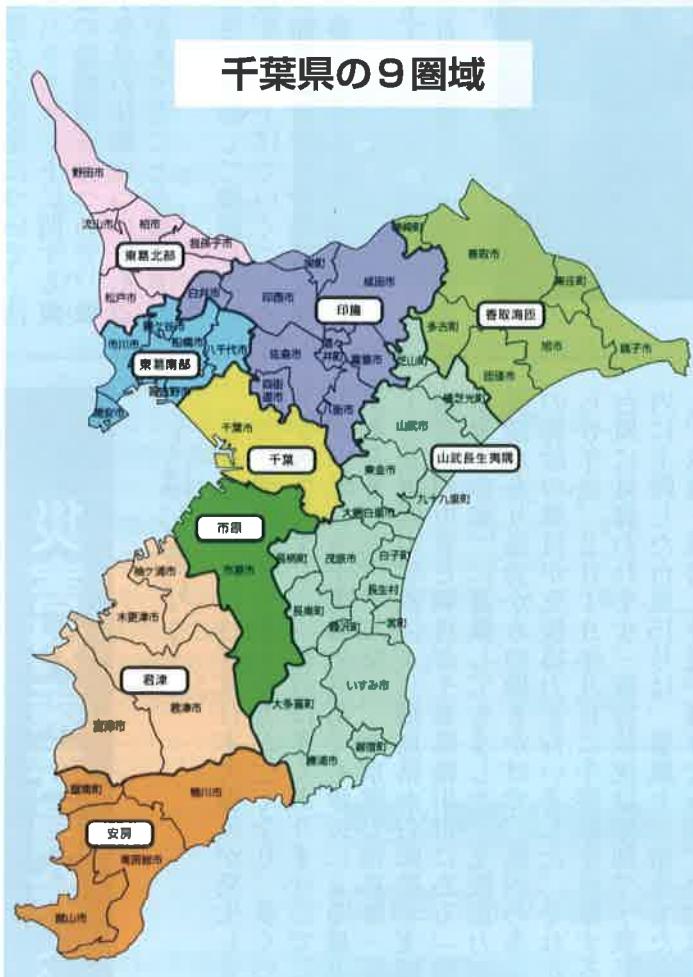
当初の課題としては台風や地震などの自然災害を中心に、過去の災害で何が困ったのかなどを確認し、支援方法や圈域作りなどを考えてきました。もう一方では千葉県DWATの締結団体の窓口として、登録研修の参加の呼びかけなどをしました。

～そしてこれから～

新型コロナウイルスは2023年5月に5類に移行され、感染対策もだいぶ緩和されてきました。そんな中、2024年1月1日、石川県能登半島沖を震源とする地震が発生いたしました。被害は甚大なものでしたが、なかなか入つてこない情報、物資を届けたくても交通が分断され、配達方法がないなど問題はたくさんあります。どう対応していこうか迷うところも多かつたです。結局「厚生労働省」から社会福祉施設等に対する介護職員等の派遣、千葉県DWAT（災害福祉支援チーム）の派遣、被災した要配慮者の千葉県内の社会福祉施設等への受け入れ（現段階では未実施）、当協会からの義援金、この4つが主な取り組みとなりました。まだまだ復興には至っておりませんが、千葉県内からはWATには13事業所16名の方が、現地での支援活動にご参加いただきました。発災当初からご協力いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

2024年1月28日

には東京湾を震源とする地震、そして2月～3月にかけての房総半島東方沖での地震、首都直下地震の発生確率は今後30年で70%ともいわれております。台



風・地震・感染症といろいろなことを経験したことで、協会の災害対策委員会としてより現実的なものとして取り組めるようになりました。特に今回の能登半島地震に接したことでの助け合いと施設との助け合い、県内施設間での助け合いとその重要性、そして他県に助けを求めることがありました。まず、今後取り組むべき課題は「助け合える強固で柔軟な組織作り」だと思います。災害対策委員会では千葉県内を9つの圏域に分け（二次保健医療圏に基づく）、各圏域には1名以上が担当しています。これからは各圏域の担当を中心とした「圏域内のネットワークづくり」、そして県内全域へ、また発災時には何が望まれ何ができるのか、「災害対策委員会の役割」を考えていかなければならぬと思っています。

災害対策委員長 やまぶき園 施設長 高橋重幸

今年度は、役員改選の年となり、先日開催いたしました支援スタッフ部会第1回代表者会議にて、部会長に再任させていただくことになりました。社会福祉法人楳の里いすみ学園の佐久間雅也（まさなり）と申します。今回で2期目となり、就任から3年目となりました。私が就任してからは、助けていただくばかりではありませんが、今後は少しでも皆様のお役に立てるよう精一杯精進していきますので、今一度よろしくお願い申し上げます。

支援スタッフ部会は、文字通り一般職員で構成される部会です。各事業所から1名ずつ選出された代表者と通じて、各種活動に取り組んでおります。協会設立当初は、従事者部会と呼ばれ、職員間交流と支援技術の向上を目的に、各種活動に取り組んで参りました。その当初は、民宿で、部屋ごとにグループ討議を行うなどの研修合宿を開催したとの事です。また、千葉県は広く、全体の活動の度に一ヵ所に集まるというものは、事業所によっては負担が大きいということです。県を東葛北、東葛南、千葉、印旛・山武、香取・海匝、市原・安房・君津、夷隅・長生の七つのブロックに分け、地区ごとに活動するようになりました。その後、知的障害者福祉を取り巻く環境の変化に合わせて協会の体制が整備され、支援スタッフ部会と名称が変わり、部会の活動も変化して参りました。従来の活動だけでなく、全国規模の研修大会の運営等、協会の活動が大きくなるにつれ、大会運営スタッフの動員等を担う当部会員の役割も重要な立場になりました。とは言え、職員間交流や支援技術向上の取り組み等、部会の基本的な目的は変わっておりません。今年度も引き続き、部会の全

県知的障害者福祉協会 支援スタッフ部会

令和6年度 支援スタッフ部会 運営委員名簿

役職	氏名 (施設名)
部会長	佐久間 雅也 (いすみ学園)
副部会長 兼 夷隅・長生ブロック長	鶴岡 秀隆 (ピア宮敷)
副部会長 兼 市原・安房・君津ブロック長	阿部 桂佑 (クローバー学園)
東葛北ブロック長	吉田 寛 (みどり園)
東葛南ブロック長	本吉 晋太朗 (あかね園)
千葉ブロック長	赤間 公隆 (たかね園)
山武・印旛ブロック長	諸澤 尚美 (十倉厚生園)
香取・海匝ブロック長	木内 航也 (大利根旭出福祉園)
事務局長	荒田 真充 (ぱれっと)

体研修や各ブロック活動を通して、多くの仲間と接することで、様々な意見や物事の見方に触れる機会となるように努めて参ります。派遣の代表者は毎年交代される方が多く、初めて他の事業所の職員が集まる「場」に出られる方も多いと思います。研修会等で多様な意見に触れるためには、周囲からの発言を待つだけでなく、自らも意見を発し、それに対する周囲からの意見を聞くことで活発な議論を喚起する必要があると思います。部会の研修では、グループ討議をよく開催いたしますが、発言が控えめな方も多く受けられます。代表者の皆様におかれましては、各種会合において積極的に意見を述べてください。

社会福祉法人楳の里いすみ学園
支援スタッフ部会 部会長 佐久間雅也

的な意見交換をお願い申します。他事業所の支援の仕方に触れる事によって、自分の職場内では当たり前ではなかつたと気付かされたり、支援に行き詰つていたことへのヒントが得られたりすることもあります。最後に、皆様が気がねなく意見交換をする事や、横の繋がりをしつかり構築していくことで、支援スタッフ部会を盛り上げていきたいと思つております。

令和6年度 支援スタッフ部会 機能別委員会への派遣委員名簿

委員会名		東葛北	東葛南	千葉	印旛・山武	香取・海匝	市原・安房・君津	夷隅・長生
スポーツ・文化	氏名	岸 達人	高橋 聖貴	山本 健太	高橋 直也	鈴木 篤	山田 浩也	秋元 裕規
	事業所	豊四季光風園	作山更生園	エルビザの里	佐倉福葉苑	香取学園 瑞穂寮	上総ゆうゆうの郷	青松学園
研修	氏名	池田 琢朗	永坂 剛毅	川島 尚子	磯田 芳江	上川 絹世	井坂 寿浩	濱川 紀之
	事業所	まつばっこり	大久保学園	オリーブ轟	かしの木園	大利根旭出 福祉園	中里の家	ピア宮敷
広報	氏名	成川 真	安孫子 登	美留町麻未	小川 順子	菅谷 大輔	伊藤 智乃	須藤 優太
	事業所	おおはし園	のまる	オリーブハウス	いんば学舎・ オソロク俱楽部	北総育成園	袖ヶ浦 ひかりの学園	いすみ あかね園
調査研究	氏名	小久保 剛	河名 美帆	秋元 泰明	新井 大吾	宮内 菜摘	本吉 友幸	岩井 和也
	事業所	さつき園	あきつ園	みらい工房 おおぞら	木の宮学園	佐原聖家族園	第2クローバー学園	長生厚生園
権利擁護	氏名	新倉 結希	長嶋 祐己	渡辺 翔	渡邊 弘希	永作 智	宮口 貴子	是枝志津子
	事業所	第二わかば	カメリヤハウス	畠町ガーデン	カマラードの里	ひかり学園 アネックスすまいる	木更津中郷丸	いすみ学園
福利厚生	氏名	名代 京平	山本 尚志	田村 優果	西川 匠	西村 洋紀	宮川 綾香	深井 務
	事業所	はーとふる	浦安市障がい者 支援センター	飛鳥晴山苑	山武みどり学園	八日市場学園	千原厚生園	みづほ学園
人材確保	氏名	進藤 美幸	山方康二郎	圓城寺 慎	加瀬紗矢佳	渡 隆貴	伊藤 達也	吉野 孝志
	事業所	けやき 社会センター	花の実園	父の樹園	八街わらの里	のさか学園	クローバー学園	夷隅都市 福祉作業所

支援スタッフ
から見た!

わが施設の自慢・アピールポイント④

平成20年度から44回にわたり109の“チチ自慢”をご紹介してきましたこのコーナー。今回は3つの“チチ自慢”です!

東葛北部ブロック・南台五光福祉協会・生活介護事業所 おおはし園 農耕班

～誰かの役に立ちたくて～

おおはし園は北国分駅から徒歩10分位で、東京へのアクセスも便利な場所に位置していますが周囲を畑に囲まれたのんびりした雰囲気の施設です。

複数の班に分かれて利用者さんは活動していますが、今回は農耕班を紹介したいと思います。

施設から徒歩数分の場所に畠を借りて年間を通して様々な野菜を栽培しています。

じゃがいもや、里芋、さつま芋（いも類ばかりですね、笑）など保護者の方を中心に販売しており毎回多くの注文を頂いています。形の良いものを選んで袋詰めをするのでどうしても小ぶりのものや少し型の悪い物が残ってしまう事や、売れ残りなどの在庫があります。売るわけにもいかず、かと言って捨てたり腐らしてしまうのはもったないと悩んでいたところ松戸市にフードバンクを行っている団体を調べ



農耕班作業風景

て見つけました。フードバンクは農家や企業、または個人から余剰の食糧を寄付してもらい、食事、食料で困っているご家庭に配る活動の事です。連絡をしたところ早く引き取りに来てください「こんなに、頂いていいのですか。ありがとうございます」と大変喜んで頂きました。

生活に困っているご家庭に、おおはし園の利用者さんが育てた野菜が届いて、おいしい料理に変身して、少しでも皆さんのが笑顔になったり明るい気持ちになってくれたら嬉しいですね。この記事を書いている時点で2回協力させて頂きましたが、今後もこの取り組みは続けていこうと思っています。

生活支援員 成川 真

香取・海匝ブロック ありのみ学園

～利用者さんの生きる喜びを共に創ります～

ありのみ学園は昭和35年に開設された千葉県匝瑳市にある成人20名、児童20名が入所されている障害児・者支援施設です。4歳から45歳と幅広い年齢層の方達

が1つの棟で和気あいあいと生活しています。1人1人の個性とニーズに応じた支援を提供し、安心して暮らせる環境を整えています。私達は利用者さんが自立し、豊かな生活を送る為のサポートを送っています。

ありのみ学園では利用者さんに四季の移り変わりを感じて頂きたく散歩や成田空港、海を見にドライブへ行きます。制作活動ではちぎり絵などで毎月テーマに沿った作品を制作し掲示しています。園芸班では旬の野菜や果物を苗植えから栽培しています。現在はミニトマト、ナス、ピーマンを育てています。収穫した野菜や果物は厨房さんに調理してもらい皆さん喜んで食べて頂いてます。



施設の外観



イルミネーション



鯉のぼり

2024年に入り、新型コロナウイルスの感染状況が大幅に改善され、日常生活にも明るい兆しが見え始めました。利用者さん個々に希望される外食や買い物などの余暇外出、季節ごとに行う園内行事をコロナ禍前同様に行えるようになりました。園内行事の際には厨房さんが工夫を凝らした特別メニューを毎回振る舞って頂き、とても美味しいそうに食べています。

私たちは、利用者さんが自分らしく充実した日々を送れるよう努力していきます。今後もより良いサービスを目指して参ります。

児童指導員 崎山 太徳

東葛南部ブロック・社会福祉法人さざんか会・カメリアハウス

～働き輝く利用者さんと職員たち～

社会福祉法人さざんか会カメリアハウスは就労継続支援B型（定員12名）生活介護（定員28名）の多機能型として運営している事業所で、中山競馬場近くの市街地の中で街並みに溶け込んで存在しています。就労継続支援B型事業所は特色のある事業を展開されている事業所を除いては工賃維持、向上に苦心されていることかと思います。ご多分に漏れず

カメリアハウスもそのうちのひとつです。そんな中で安定した収入源として頼りにしているのがポスティングで、ほぼ毎週折込と配達をしています。市街地ですのでかなりの部数があるうえエリアも多く受け持たせもらっているので、毎週水曜日にはたくさんの新聞、チラシが届き生活介護の方もほぼ全員で取り掛かります。そして午後からは登山用リュックに新聞を詰め込み各グループ出発です！多くの方は自分の配布コースを覚えており次々とポストインしていきます。昨年の夏は酷暑で汗だくになりながら、そ



市街地にてポスティング作業中



施設からポスティング作業へ出発！

して雨が降っても配布しないわけにはいきません。スマートな姿で事業所を出していく姿にはほれぼれてしまいます。生活介護の方も負けてはいません、黙々と配る表情には誇らしさがじみ出ています。もちろん同行する職員も事故などが起きないように配慮しながら配布をしていますので様々な技術が必要となります。そしてポスティングを終え何事もなかったかのような表情でカメリアハウスへ戻ってくる自慢の利用者さんと職員、かっこいいなあ。

施設長 藤巻 正英

係日中等の不規則な外出、対人関係など、
施設は仕事を通じて、就労に必要な定期的な外出、対人関係など、
位置します。歩道3分程度の場所に徒歩西口
千葉方面に向かい歩道3分程度の場所に徒歩西口
駅西改札口から北へ進み、線路沿いアンプはJR千葉

ます。

職員が過度の支援をされ、ご本人の力で目標に向かいステップアップできるようになります。アンプはJR千葉駅西改札口から北へ進み、線路沿い歩道3分程度の場所に徒歩西口

令和5年4月千葉市中央区弁天にオープンしました「Unpeu」です。現在、弊社ではUnpeuのみの事業を運営しています。Unpeuは馴染みのない言葉ですが、

Unpeuは馴染みのない言葉ですが、

身につけることで仕事や日常生活を安心して過ごせようにお手伝いさせていただきます。仕事はパソコンを使い、データ入力を行っています。基本、ローマ字入力により可能です。パソコン操作ができない方には、電源の入切、マウス操作、ローマ字入力等実業務の練習と皆さんが安心して仕事できるようお手伝いします。
運営から1年を過ぎましたが、試行錯誤を繰り返し利用される方々の目標に向かいお手伝いを続けています。お近くにお越しの際はお立ち寄りください。

管理者 馬田尚樹

新事業所紹介

株式会社SGT
就労継続支援B型
Unpeu(アンプ)
～楽しくステップアップ～



面談室



施設全景



利用者休憩室



作業室

千葉知協トピックス

スポーツ文化委員会 藤崎明

熱戦！千葉県障害者スポーツ大会

今年度も千葉県障害者スポーツ大会が、5月26日の千葉県総合スポーツセンター陸上競技場での総合開会式を皮切りに、知的障害関係では、陸上競技、水泳、卓球、ボウリングの4競技によつて開催されました。

本大会は、10月に開催される「全国障害者ス



ボーリング大会「SAGA 2024」への千葉県代表選手選考も兼ねており、各競技とも県代表を目指して熱い戦いが繰り広げられ、知的障害関係では、以下の選手が大会記録を更新しました。

【陸上】

男子走幅跳少年…

松本吏功 (Diversity A.C.千葉)

永山式真 (Diversity A.C.千葉)

男子ジャベリックスローソニー青年…

立津流星 (ふる里学舎)

女子1500m壮年…

山本京子 (ひかり A.C.)

【水泳】

男子50m自由形青年…

八重樫 準 (市川市)

男子50m背泳ぎ…

山本健史 (八千代身障会)

女子25mバタフライ青年…

安藤 渉 (成田市)

女子50mバタフライ青年…

安藤 渉 (成田市) 今井彩音 (船橋市)

全国障害者スポーツ大会 「SAGA 2024」千葉県代表選手決定

10月26日から28日まで佐賀県で開催される第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA 2024」の千葉県代表派遣選手が発表されました。

千葉県の知的障害関係選手枠は個人競技29名。千葉県選手団の大きい活躍が期待されます。知的障害関係の派遣選手は以下のとおりです。

陸上競技…

小林舜 (流山高等学園)、柳田彪悟 (東金特別支援学校)、佐藤羽 (印旛特別支援学

校さくら分校)、貝谷旭紀 (柏市)、永山式真 (白井市)、立津流星 (ふるさと学舎)、原野史奈 (我孫子市)、安西伸浩、山本京子 (以上、ひかり A.C.)、青木聖真、河村拓海 (以上、one's)、鳴田開人、米澤諒、松本吏功、鈴木裕貴 (以上、Diversity A.C.千葉)

水泳…

上村温 (我孫子市)、中島啓智 (習志野市)、安藤涉 (成田市)、鈴木千絵子 (市川市)

卓球…

小林弘太郎 (我孫子市)、石井敏章 (就労生活動着支援センター リープ)、北守美織 (八千代市身体障害者福祉会)、松長美代 (萤雪学園)

ボウリング…

松永尊琉 (香取特別支援学校)、林和孝 (大網白里市)、友田彩花 (君津市)

フライングティスク…

田中秀治 (市原市)、石塚真也 (佐倉福葉苑)、加藤碧流 (グループホーム Ohana)

事務局便り

事務局長 千日 清

千葉県知的障害者福祉協会は、まもなく古希、設立70周年を迎えます。先人たちの思いと情熱を繋ぎ受け継ぎ、より深い繋がりをこれからもずっと。

編集後記

おおはし園 成川 真

昨年度の春号より編集に携わっております。

この役割を通して、千葉県内で多くの方が知的障がい分野において温かい心を持ち日々職務にあたられている事また、その合間に知識や技術を新たに得ようと奮闘しているのを知りました。皆様からの良い刺激を頂き、私も日々向上していくればと思います。